

SENDAI

About SENDAI



JR仙台駅



仙台PARCO2

東北の中心都市、仙台は自然環境と利便性に恵まれたとても暮らしやすい街です。夏の暑さは穏やかで、東北でありながら冬の降雪量が少ないことが特徴です。年間を通じて様々なイベントが行われ、たくさんの人で賑わい、夏は『七夕まつり』、秋は『定禅寺ストリートジャズフェスティバル』、冬の『光のページェント』には県内外から多くの観光客が訪れます。また、新緑のまぶしい5月には『青葉まつり』が開催され、当院では希望者が参加しています。

買い物や生活に必要な施設がすべて揃っており、JR、地下鉄、バスなどの交通網が充実しているので安心して生活をしながら、仕事に打ち込むことができます。



仙台・青葉まつり



三井アウトレットパーク 仙台港

Being the Pioneer of
the Medical Front
for TOHOKU

臨床研修医 募集案内



ACCESS MAP

仙石線

「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に
乗車(約16分)し、
「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分

宮城交通バス

「仙台港フェリーターミナル行
(福田町夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、
「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

仙台市営バス

「高砂市営住宅西行」に乗車し、
「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

「6号公園住宅前行」に乗車し、
「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、
徒歩約3分

車

仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

新大学病院棟 2019年完成



<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident>

お問い合わせ

医学部卒業研修支援センター

TEL: 022-259-1221 (内線1478)

E-mail: kenshu-shien@hosp.tohoku-mpu.ac.jp

FB: @TMPU.CPME

東北医科薬科大学病院
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL



東北の素晴らしい医療の実現に向かって

2016年4月に医学部が開設し、「東北医科薬科大学病院」へと生まれ変わった今、当院は医学部附属病院に相応しい、診療体制の充実、優れた教育体制、ハード面の拡充と、進化の真っ只中にあります。

東北医科薬科大学の医学部は、地域医療を実践する医師を育成することを目的に新設されました。そのため当院も一般的な大学医学部の附属病院とは異なり、これまで地域で果たしてきた市中病院としての役割をさらに充実させていきます。高度医療、先進医療だけでなく、地域医療を担う幅広い疾患に対応できる診療体制は臨床研修の場に相応しいと考えています。救急も、高次救急に特化するのではなく、1次～3次まで幅広く診ていきます。元々が市中病院であるため、各診療科の垣根が低く、上とも横ともコミュニケーションが取りやすいのも魅力です。

仕事とは、「他者の役に立ち、社会の役に立つこと」それは全職種で言えることであり、風通しの良い環境だからこそかなうものだと思います。医学部新設の成長期にある附属病院での研修は、当院でしかできない経験でしょう。明日の東北の、素晴らしい医療の実現に向かって共にチャレンジしましょう。

東北医科薬科大学病院 病院長

近藤 丘 Dr. Takashi Kondo

臨床力と総合力で地域医療を支える医師に

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国で37年ぶりの医学部が新設されたことで、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設、従来の診療科へのスタッフ増員がありました。2019年には新大学病院棟が完成し、よりハード面の充実が図られました。

病床数はICU14床を含め148床で、既存病院と合わせた病床数は554床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになります。

これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。



About TMPUH

Message from

チャレンジと成長の連続を共に

当院は2016年の医学部開設に伴い、東北医科薬科大学病院として再スタートを切りました。地域医療に貢献できる医師の養成を使命として誕生した大学ですので、学生はもちろんですが、臨床研修に関してもその使命は貫かれることになります。診療科、医師数共にこの数年間で大幅に増加しました。また、新病棟や教育研究棟が完成し、最先端の医療機器も導入され、初期研修もより充実した環境下で行うことができます。

とは言え、医師として最も重要な、常に冷静さを保ち患者さんのことを第一に考える“patient first”の精神を持ち続けることを忘れてはいけなく考えています。何かあったらまず現場にかけつけて患者さんの状況を把握する、「フットワークの軽い医師」を育てることを目標に掲げています。

当院の多くの診療科では、いわゆる新専門医制度下で基幹病院として申請済み・申請予定で、初期研修後の専門研修、さらにはその後のサブスペシャリティ領域へ、継続的なキャリアパスを支援します。大学院の設置も予定されており、学位取得も可能になります。学位を取得後、そのままスタッフとして当院でご活躍頂くことも可能です。

今後の5年間は、当院がダイナミックに変貌して行く時期になるでしょう。他の病院では体験できないようなことが数多くあり、非常にやりがいがあります。私たちと一緒に新しい病院を作り、病院と共に成長していける意欲に満ちた方をお待ちしています。

東北医科薬科大学病院 副病院長/卒後研修支援センター長

Dr. Chikashi Shibata 柴田 近



卒後研修支援センターについて

東北医科薬科大学病院医学部卒後研修支援センターは、2016年10月に設立されました。当センターは、卒前教育との連携を図りながら、教員や病院所属医師の“卒後教育”（臨床研修・専門研修）を支援し充実させること、および本学卒業生の東北地方定着に向けた支援を目的としています。

- 研修医の募集および任用に関すること
- 卒後臨床研修カリキュラムの企画立案および実施に関すること
- 研修医の評価に係る業務に関すること
- 研修関連医療機関等との連絡・調整に関すること
- 学部教育との連携に関すること
- 専門医等の育成に関すること
- 地域医師等の生涯教育の支援に関すること
- その他卒後臨床研修に関する事項

東北医科薬科大学病院だからできること

地域型 大学病院

大学病院+横断的な医療

教育リソース

先端的医療機器

被災地の病院だから
できること

新大学病院棟
2019年完成!

特色あるプログラム

当院は2次救急医療機関ですが、時に3次救急相当の重症患者も積極的に診察しており、walk inから救急搬送、common diseaseからCPAまで多彩な症例に対応しているため、研修医の実力を養う絶好の場です。担当した症例や判断に迷いやすいケースについては指導医がフィードバックを行い、確実に1次・2次救急への対応能力を身につけることに重点を置いています。

内科系・外科系診療科がひと通り揃っただけでなく、マイナー科も充実しています。内科研修では、10の内科系診療科の中から自由に選択し研修できます。また、自由選択では、当院の30以上の診療科(部)および協力病院の中から診療科・研修期間を選択してスケジュールを組むことができます。

必須科目

- **内科** 自院内科系診療科から2~3科選択し、24週以上研修
- **救急部門** 自院救急科および麻酔科で12週以上研修
- **外科** ● **小児科** ● **産婦人科** ● **精神科**
自院(希望により研修協力病院での研修可)でそれぞれ4週以上研修
- **一般外来** ● **地域医療**
協力病院・施設でそれぞれ4週以上研修

自由選択

- 自院診療科から選択 | 希望により研修協力病院での研修可
- 循環器内科
 - 脳神経内科
 - 乳腺・内分泌外科
 - 耳鼻咽喉科
 - 感染症内科
 - 呼吸器内科
 - 腫瘍内科
 - 心臓血管外科
 - 産婦人科
 - 病理診断科
 - 消化器内科
 - 精神科
 - 脳神経外科
 - 泌尿器科
 - がん治療支援(緩和)科
 - 糖尿病代謝内科
 - 小児科
 - 整形外科
 - 放射線科
 - ペインクリニック外科
 - 腎臓内分泌内科
 - 消化器外科
 - 形成外科
 - 麻酔科
 - リハビリテーション科
 - 血液・リウマチ科
 - 肝胆膵外科
 - 皮膚科
 - 救急科
 - 総合診療科
 - 呼吸器外科
 - 眼科
 - 臨床検査部

内科重点コース

内科系を中心とした研修を行い、内科専門研修にシームレスに繋がるプログラムです。

研修スケジュール例



小児科重点コース

小児科を中心とした研修を行い、将来的に小児科医を志す研修医のためのプログラムです。

研修スケジュール例



外科重点コース

外科系を中心とした研修を行い、外科専門研修にシームレスに繋がるプログラムです。

研修スケジュール例



産婦人科重点コース

産婦人科を中心とした研修を行い、将来的に産婦人科医を志す研修医のためのプログラムです。

研修スケジュール例



総合診療・地域医療重点コース

当院総合診療科、協力病院・施設での地域医療研修を中心とした、総合診療専門研修にシームレスに繋がるプログラムです。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療科		救急部門 (救急科および麻酔科)					内科				
2年目	外科	小児	産婦	精神	地域医療 一般外来				自由選択			

自由選択コース

自由選択期間を有効に使い、各研修医の意向に対応することが可能なプログラムです。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急部門 (救急科および麻酔科)					内科					自由選択	
2年目	外科	小児	産婦	精神	地域医療 一般外来				自由選択			

東北大学病院たすぎ掛けコース

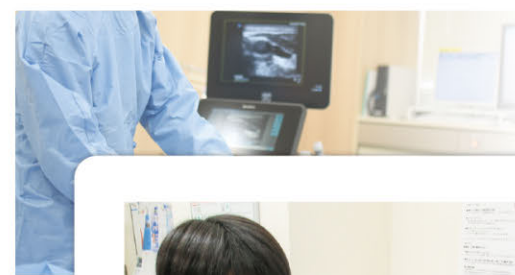
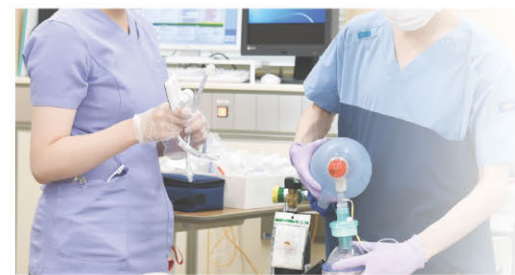
東北大学病院の高度で先進的な医療を学ぶことが可能なプログラムです

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急部門 (医薬大) (救急科および麻酔科)					内科 (医薬大)					自由選択 (医薬大)	
2年目	小児	外科 (東北大)	産婦 (東北大)	精神 (東北大)	自由選択 (東北大)				地域医療 一般外来		自由選択	

東北大学病院より4~6月間選択可能

※ローテートをわかりやすくするため月単位で表記しています。実際は4週ごとのくりぎりとなります。



臨床研修医
大友 梓(山形大学 卒)

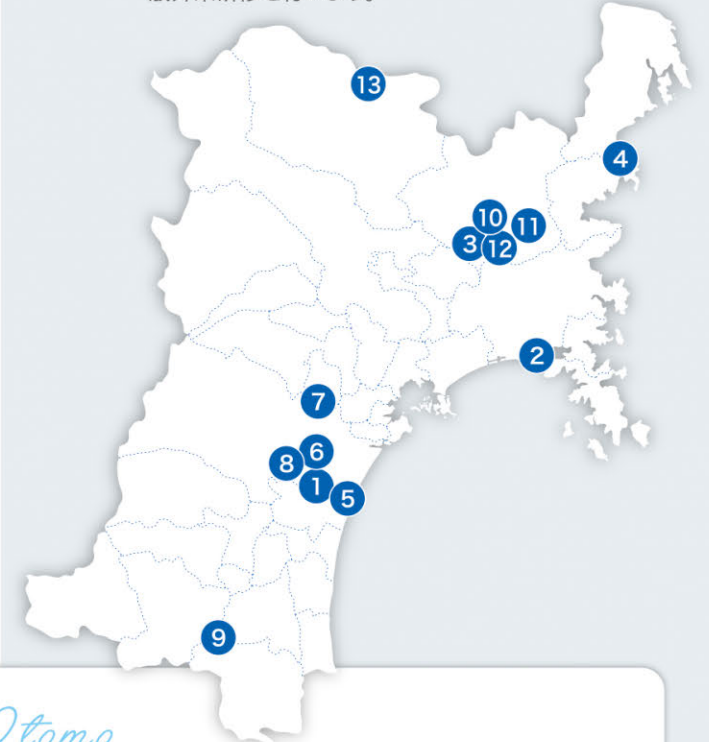
Azusa Otomo

仙台は豊かな自然環境がありながら、商業施設も多く、公共交通機関も発達しています。猛暑日が少ないことも住みやすいポイントです。雪が積もって大変そうと思うかもしれませんが、仙台の積雪は数センチ程度と東北地方としては少なく、雪かきの心配もありません。病院のそばには川が流れ、窓からは山々を眺めることができ、少し行けば海があります。このような環境で、市中病院と大学病院の両者が混在し、アカデミックな知識に基づき多くの症例を経験できる研修を受けています。実際に研修をしてみて、これらが当院の魅力だと改めて感じています。大学病院として日々成長を続ける当院での研修を通じて、共に切磋琢磨し合いながら病院を盛り上げていきましょう！お待ちしております！

研修協力病院・施設

- 東北大学病院
 仙台医療センター
 ①東北医科薬科大学 若林病院
 ②石巻市立病院
 ③登米市立登米市民病院
 ④南三陸病院
 ⑤岡部医院
 ⑥岡部医院仙台
 ⑦照井在宅緩和クリニック
 ⑧仙台往診クリニック
 ⑨公立刈田総合病院
 ⑩登米市立上沼診療所
 ⑪登米市立米谷病院
 ⑫登米市立豊里病院
 ⑬渡辺整形外科内科医院

協力病院・施設の内、①~⑬の病院・施設で地域医療、一般外来研修を行います。



研修医たちの ある一日



8:00 - 8:30 - 9:00 午前 12:00 13:00 午後 17:15



研修医のある一週間

【総合診療科】

月曜日	カンファランス、病棟回診、外来見学
火曜日	カンファランス、病棟回診、外来見学
水曜日	カンファランス、病棟回診、教授回診、症例検討会、抄読会
木曜日	カンファランス、病棟回診、多職種カンファ
金曜日	カンファランス、病棟回診
土曜日	救急当直
日曜日	OFF

★週1回:救急当番、研修医勉強会

先輩メッセージ



Takehito Ito

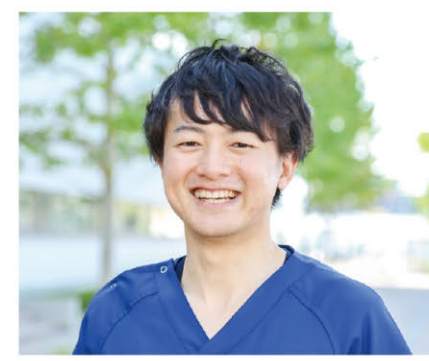
臨床研修医 伊藤 豪仁 (岩手医科大学 卒)

この病院を選んだ理由はなによりも自分にとっての「働きやすさ」を実現できる場所だからです。教育病院にて知識・経験を積みながら、即戦力として活躍できることは非常に重要なことだと思います。学生時代から、実際に働いている先輩方の話を聞いたり、見学の際も皆さんとても明るく、気さくに話して下さるので、自分に合っている病院はここだ!と肌で感じることができました。チャレンジしてみたいことを自分のペースで取り組ませてもらえるので、しっかりと成長することができます。研修医の数が多すぎないということもメリットの一つだと思います。指導医の先生に研修中つまずいた所を把握してもらえるので、正確なフィードバックをいただけます。さらに、ローテート中の診療科以外の先生方やスタッフの皆さんが自分たちのことを覚えてくださり、優しく接してくれるので、なんでも聞くことができますし、自分の医師としての成長をサポートしてもらっています。

臨床研修医 増田 敦 (山形大学 卒)

東北医科薬科大学病院はまだまだ市中病院の特色を色濃く残しつつも、2019年10月より学部1期生が実習をスタートするなど着々と大学病院への道を歩んでいます。このような環境は全国でも今この病院だけです。

市中病院のように基本的な手技、ワークインの対応が身につく一方で、大学病院なので指導医の先生が多く、熱心にご指導して下さいます。文献検索や勉強もできる大きな図書館もあるので、研修中に気になった点を調べたり、レポートなどを作成する際にとっても便利です。それから、救急当番も現在は22時までなので、体力的な負担が少なく自分の時間が確保しやすいことも特徴の一つです。他にも、コメディカルの方々が研修医にも優しく接して下さることなどこの場で紹介しきれないほど魅力に溢れた研修病院だと思います。

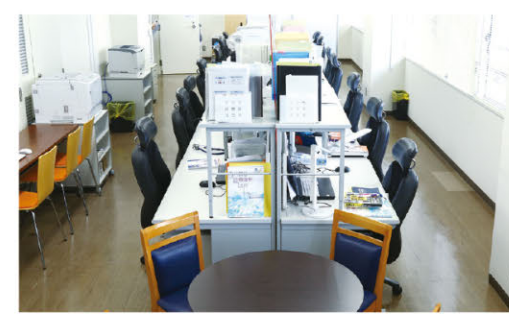


Atsushi Masuda

職場環境

■ 研修医室 2018年度リニューアルしました。

研修医室には個々のデスクがあり、電子カルテも設置されています。



■ 宿舎

2019年にできたばかりの2棟の宿舎。1K・ウォークインクローゼット付、しかもトイレバス別で快適。セキュリティも万全なので安心です。

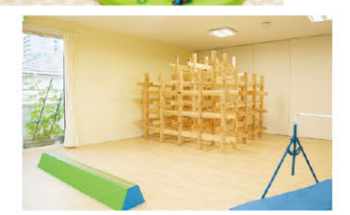


■ カフェテリア



■ ぶくぶく保育園

夜間保育も行っており、子育てをしながら安心して仕事を続けることができます。※当院職員のみ利用となります



■ CAFE CORE



■ ローソン





新大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含め手術室9室のほか、高機能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。また、2019年4月にメディカルトレーニングセンターが開所し、より安全な医療を提供するための技術研修が可能となりました。



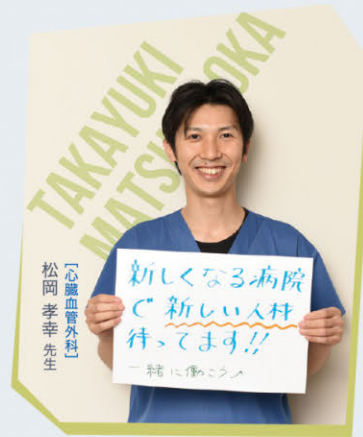
ハイブリッド手術室

手術室に血管造影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D-CT撮影も行うことができる手術室です。従来の手術室では対応の難しかった、より高度で低侵襲な治療が可能になりました。



放射線治療装置(リニアック)

リニアックに専用のCT装置を合体させたCT-リニアックという高精度放射線治療装置を導入しました。放射線治療を行う際、ポジションの位置合わせをした後で、位置合わせが正しくできているかどうか、CT撮影をして確認できます。



【心臓血管外科】
松岡孝幸先生
「新しくなる病院で新しい人材待ってます!!」
一緒に働こう!



血管造影装置(パイプレン型)

パイプレンとは、X線管球と検出器が2セット搭載されているシステムのことであり、1度の造影剤注入で2方向を同時に撮影することができます。これにより造影剤減量と被ばく低減が可能になり患者負担の軽減につながります。



メディカルトレーニングセンター

医学部の新設に伴い設立したメディカルトレーニングセンター(MTC)では様々なモデル、シミュレーターを用いた技能習得、救急・急変対応、技術トレーニングが可能です。医学部生のほか、新規入職の看護師、コメディカルスタッフ、研修医がともに学ぶ場となっています。



東北医科薬科大学病院

〒983-8512

宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号

【病院長】 近藤 丘

【病床数】 一般病棟508床 精神病棟46床 計554床

【前身】 1946年 5月 宮城第一病院

1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称

2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更

2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更

標榜科

【内科系診療科】 総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、糖尿病代謝内科、腎臓内分泌内科、脳神経内科、感染症内科、血液・リウマチ科

【外科系診療科】 消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、心血管外科、乳腺・内分泌外科

【その他の診療科】 整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、緩和ケア内科[がん治療支援(緩和)]科、ペインクリニック外科、歯科口腔外科



【泌尿器科】
阿南 剛先生
「新しい病院で新しい歴史を一緒に作りましょう」

【腎臓内分泌内科】
衣笠 哲史先生
「一緒に院張ります」

【泌尿器科】伊藤 淳先生
「ちょうどいい病院ですよ!」
まじで。

【消化器内科】
福士 大介先生
「自分に合った診療科が必ず見つかります」

【循環器内科】
菊田 寿先生
「忙しい時でも楽しく働ける! 皮膚科も内科も」

【消化器内科】
佐藤 格先生
「自分の得意分野で働きたい」

【耳鼻咽喉科】
東海林 史先生
「個性・多様性 人が集まれば広がる可能性」

【腫瘍内科】
工藤 千枝子先生
「経験は力なり 自分が担当した患者は忘れません!!」

【脳神経内科】
中村 正史先生
「楽しく働きましょう」

【総合診療科】
住友和弘先生
「新しい病院で新しい歴史を一緒に作りましょう」

【心臓血管外科】
皆川 忠徳先生
「もうひとつの忘己利他 の精神」

臨床研修医募集要項 抜粋

研修期間	4月1日から2年間
身分	常勤嘱託職員
給与・賞与	1年目-基本給 320,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季) 2年目-基本給 330,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季)
各種手当	通勤・賃貸・時間外等
勤務時間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤 8:30~17:15 就業規則に基づき実施
休暇・休日	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次休暇 法定に基づき付与、育児休業、介護休業等
年金・保険	私学共済、雇用保険、労災保険、介護保険(対象者)加入
福利厚生	健康診断実施、ワクチン接種、学会等への旅費支給、医師賠償責任保険(病院負担にて加入)など